

第26回長塚節文学賞 俳句部門

大賞

浦城 亮祐	奈良県奈良市	沈丁花出口ひとつの駅で待つ
-------	--------	---------------

優秀賞

石塚 一夫	茨城県つくば市	顔ひとつ暮れてゆきけり秋遍路
鎌田 誠	北海道札幌市	もう誰も戻らぬ家や水柱伸び
芳山 三喜雄	茨城県つくば市	空一枚引つ張つてゐる凧
久信田 史夫	茨城県水戸市	花冷や羽織るに足らぬ母のもの
秋田 武	茨城県常総市	古文書の褪せぬ墨色夜半の秋

佳作

萱原 綾川	茨城県潮来市	畦焼いて村は歴史を重ねけり
栃木 絵津子	茨城県常総市	秋天へ素顔やさしき大櫓
宮川 礼子	茨城県筑西市	夏草や土手がどンドン狭くなる
田中 冬泉	茨城県常総市	歳月の足音までも悴める
砂押 悦子	茨城県ひたちなか市	山茶花の高き生垣風に立つ
井川 水衛	茨城県水戸市	同じこと毎年ねがひ星祭
松本 たけし	茨城県水戸市	堰切つて心逸りぬ落水
新垣 武志	東京都品川区	春炬燵今日はいらなくなりけり
野口 光江	茨城県常総市	ちちろ鳴く夜の静寂の子守歌
石塚 明夫	東京都八王子市	冬枯るる坂東一山紫峰立つ
飛田 キミ子	茨城県北茨城市	爽やかや山頂駅の改鋏音
安部 衣世	埼玉県さいたま市	晩学を励ます声の木葉木菟
吾亦紅	大分県国東市	じゃんけんのゲーで始まる花辛夷
赤野 恵祐	神奈川県横浜市	頭からがぶり岩魚の塩加減
印出井 慶子	東京都文京区	蜻蛉や供花に止まりて合掌す
富山 勉	東京都東村山市	耕せば土くろぐると息をせり
田中 秀夫	茨城県つくば市	かなかなをかなかなと聞く佳き日かな
長田 輝男	茨城県北相馬郡利根町	秋の雲流るる果を知りもせず
森田 照子	埼玉県熊谷市	一望の植田のみどり眩しめり
山崎 幸子	茨城県稲敷市	蚊帳吊りて静もるまでの子守歌

入 選

大久保 朝一	茨城県筑西市	かやぶきの節の里や秋高し
中澤 睦子	茨城県つくば市	春寒や庭の飛石ひとつずれ
黒岩 禮子	茨城県牛久市	苗木市もうひと声の値踏みして
坏 文雄	茨城県つくば市	歌垣の山へ流るる天の川
野口 まさ子	茨城県結城郡八千代町	市場には出せぬ南瓜の強面
田中 敬子	茨城県つくば市	客迎ふ玄関前の花ざくろ
藤林 正則	北海道札幌市	深閑と節の歌碑や雪催
秋山 祐子	滋賀県大津市	天高し素直になれと父の言う
田口 穂心	秋田県秋田市	極寒の肌を挿す日の野辺送り
村田 敏子	茨城県稲敷郡阿見町	風紋に音符のやうな素足跡
野口 英二	茨城県土浦市	農継ぐは村の誇りや節の忌
根本 光子	茨城県稲敷市	春雷や闇夜の中を走り抜け
神郡 貢	茨城県下妻市	秋日燦節生家の節像
黒木 成剛	茨城県龍ヶ崎市	寡黙なる農夫田植の輝きて
風 守	岡山県岡山市	大花火子供に返る一夜かな
吉澤 洋雪	茨城県筑西市	地へ触れむばかりの袂千歳飴
野原 夏音	埼玉県本庄市	振花のねちれてこそその美と思ふ
石毛 恵美子	茨城県土浦市	つくばねやどこへ行くのかかたつむり
向田 明子	茨城県古河市	白雲の飛天のごとく秋の空
貝塚 勇	茨城県土浦市	面を打つ翁一人の遅日かな
松崎 マサ子	茨城県常総市	戦争を知る姉二人日向ぼこ
加倉井 益子	茨城県取手市	刈田遙か今日の筑波嶺濃く青く
塚原 ひさ	茨城県常総市	すみづかれやと追いつく母の味
北條 みえ子	茨城県常総市	父在りし日の古里や春日影
相沢 正志斎	茨城県水戸市	白南風に沖離れゆく雲厚し
藤井 きい子	茨城県坂東市	節忌や農一筋の我誇り
中野 義雄	新潟県新発田市	ふらここの揺れて母校はさら地なる
落合 君子	茨城県常総市	夫と行く国東半島山笑ふ
村田 久美子	静岡県藤枝市	追伸を書き足してなお夏の夕
五十嵐 悦哉	茨城県那珂郡東海村	そうめんや浜辺に近き八畳間
大山 とし子	茨城県小美玉市	神鏡に二礼二拍手秋の声
小林 一男	茨城県石岡市	一面の落ち葉に紅葉一葉かな
高森 孔雲	東京都渋谷区	常総の荒れた農地に柿一つ
和田 直人	東京都目黒区	春寒や寝息愛しき子の温み
小俣 恵美子	埼玉県川越市	青天に続く鳥居や富士登山
小倉 二三代	茨城県つくば市	牛の啼く村は七戸や夕朧
下村 修	神奈川県川崎市	立ち漕ぎの蜻蛉の群れに加はれり
田中 正博	東京都足立区	釣瓶落とし日の道急ぐ影法師
佐野 政矩	神奈川県川崎市	秋の空眺めて暮れる草枕
太田 酔子	兵庫県芦屋市	ふとこころにいのち抱きつつ山笑ふ
穂苺 真泉	長野県安曇野市	翳りゆく世に枝豆の薄みどり

熊谷 亜津	茨城県結城郡八千代町	なぞ多き小町伝説花あやめ
草間 亨	茨城県常総市	一つ灯に二人の余生冷奴
安井 三緒	千葉県千葉市	鯨の魚籃酒匂はせて覗かれし
佐藤 泰洋	茨城県常陸大宮市	山百合の峠越えれば妻の里
宮城 六郷	東京都足立区	黒焦げの向日葵いき終わらざる
新井 政子	茨城県常総市	桑芽吹く蚕飼日は遠くなり
堤 洋子	神奈川県横浜市	茶絶ち終え新茶の香る仏間かな
横関 くに	茨城県常総市	先駆けてアナウンサーの衣更え
塚田 千栄	茨城県筑西市	柿の実が朱色に光る朝の露
高田 みつ紀	埼玉県行田市	豊年や土のこゑなる鬼怒大地
山崎 甯子	茨城県日立市	くちなはの腹膨らませ沼の昼
海神 瑠珂	岐阜県郡上市	亡き叔父の作句手帳や魂祭
秋織田 一刻	茨城県取手市	夜振火の描く8の字ここかしこ
青木 和江	茨城県つくば市	物言はぬ子にお帰りを言ふ寒さ
木村 浩	埼玉県春日部市	白梅が石灯籠を脇役に
井坂 あさ	茨城県小美玉市	裸木となるも威厳の大樺
池ノ上 久利	茨城県坂東市	見つめあう二人見守る山桜
荻野 次江	茨城県常総市	夏休み柱で計る背くらべ
永瀬 貞子	茨城県常総市	ガラス戸を這う雨蛙夕御飯
倉持 毅	茨城県筑西市	虫の音の筑波嶺越えて常世まで
大橋 禅太郎	東京都千代田区	こする目に香るや朝のふきのとう
月城 花風	東京都中野区	白き雪ほのかに紅き掌
三河の空	愛知県豊橋市	孫が打つ太鼓の音色春を呼ぶ
高橋 富士恵	茨城県小美玉市	万歩計あと数十歩庭の梅
鈴木 仁	秋田県大仙市	開拓の父と見上げし揚雲雀
林 恵美子	茨城県土浦市	何よりの五体満足草むしり
石井 暁	栃木県芳賀郡茂木町	噴水や旅の疲れの夢の中
綿引 和枝	茨城県常陸太田市	菩提寺の長き参道稲の花
甲斐 瑠璃子	東京都江東区	茅葺きの生家守るかに法師蟬
多田 六也	埼玉県上尾市	十薬や今もなほ鋭き父の鎌
水柿 とし	茨城県笠間市	散水を待って顔出す蝦蟇
清水 良郎	愛知県名古屋市	写真機の暗幕に入る桜かな
松崎 淑子	茨城県石岡市	手の届く其処に幸せ春の蝶